

おこやか「健やかづくり」のシステム工法／自立と介護の家づくり



有限会社 ケアライフ・システム

〒601-8335 京都市南区吉祥院砂ノ町16

Tel (075) 693-0333

Fax (075) 202-8455

<http://www.care-life.info>

(2009/02・03月号)

陽もずいぶん長くなってきました。

3月5日は啓蟄。暦便覧に「陽気地中にうごき、ちぢまる虫、穴をひらき出れば也」とあり、冬眠をしてきた虫たちが穴から出てくる頃ということです。

花の便りももうすぐ。寒さに負けず頑張りましょう!!



バリアフリー工事を安心して任せられる工務店の 五つの条件

ケアライフ・システムは障がい者・高齢者対応住宅、バリアフリー住宅の提案、設計、施工とアトピー・アレルギー症状、シックハウス症候群、化学物質過敏症の方にも安心してお住まいいただける住宅の建築を心がけています。

そこで、所謂バリアフリー工事を依頼されるときを目安になるものを挙げてみました。

勿論これだけではないでしょうし、その人毎に重要視される項目は違うと思いますが、参考になればと思います。

資格を持っていますか？

建築業の許可、建築士（1級、2級、木造）、施工管理技師（1級、2級）、福祉住環境コーディネーター（1級、2級、3級）、福祉用具専門相談員等が資格としてあげられます。

初めて会われる時など、どのような資格を持った人が在籍しているのか、また、どんな資格を持った人が現場に携わるのかを尋ねると、その工務店のバリアフリー工事に対するスタンスが良くわかると思います。

知識はありますか？

建築は勿論、介護保険制度や障害者福祉、助成金、福祉用具、症状の基礎知識等の知識をもっているでしょうか。

2～3項目質問をしてみて、回答が出てくれば合格といえるでしょう。

また、専門部署やショールームがあれば更に良いと思います。

但し、何でも知っていますという態度で、専門職の意見を聞かず独走してしまうのは問題です。



実績はありますか？

今までにどのような実績があるでしょうか。バリアフリー工事の多くは手摺りから始まる場合が多いようです。

過去にどのような症状に対してどんな工事をしたのか、聞いてみると良いでしょう。過去の施工の写真・図面等があれば見せてもらうのも良い方法です。

何をメインにしている会社でしょうか？

建設会社・工務店といっても、公共工事主体のゼネコンであったり、道路等を造る土木建設であったりと様々です。

バリアフリー工事は、個人の住宅に入り込み、且つ様々な障害や症状を持った人たちが対称になる、個人向けのきめ細やかな工事となります。それらに対応できるかどうかは、メインとする営業内容で判断できるでしょう。

対応は良いですか？

相談
依頼

訪問
ヒヤリング

提案

改良

設計
施工

満足
感動

の図式で工事が進められていきます。

やはり最後は満足や感動が求められます。その最終目的を本当に目指しているのか、あるいは利益だけを追求している会社なのかが、クライアントにとって大きな問題となります。

電話の対応や担当者のご挨拶等からある程度判断できるでしょう。

改修工事は心の改修であり、それによってA D L（日常生活動作）に広がりを持ち、更にはQ O L（生活の質）を向上させます。建物の改修だけでなく、ご本人の満足は勿論、ご家族の絆まで携わる気持ちで改修に取り組んでいます。

梅花祭/天神さん

2月25日は北野天満宮の梅花祭です。

毎月25日の縁日には、境内や神社周辺に多くの露天が出展しとても賑やかです。行かれたことがある方も多いのではないのでしょうか。

なかでも、御祭神菅原道眞公の祥月命日に行われる祭典の梅花際は、1月の『初天神』・6月の『御誕辰祭』・12月の『終い天神』と並んでとりわけ賑やかで、また華やかです。

この頃には、境内・梅苑内(有料)の50種 約2,000本の梅も咲きそろいます。

上七軒の芸妓・女将の奉仕による野点席(有料)も人気で毎年多くの参拝者で賑わいます。

詳細は北野天満宮のホームページ(<http://www.kitanotenmangu.or.jp>)をご覧ください。



菅原道眞(すがわらのみちざね)



承和12(西暦845)年6月25日、代々文章博士(もんじょうはかせ)を務めた学者の家系に生まれ、幼少の頃から詩歌に才能を見せます。文武に優れ異例の速さで昇進し、宇多天皇の信任を得て昌泰2(西暦899)年右大臣に昇進しました。しかし、政争に巻き込まれ、讒言により大宰権帥(だざいごんのそち)に左遷されます(昌泰4年1月25日)。

失意の日々を送り、ついに延喜3(西暦903)年2月25日太宰府の地で亡くなります。

その後都では異変が相次ぎ、道眞追放に関わった人たちが相次いで亡くなります。延長8年6月26日には内裏に落雷があり多数の死傷者が出ました。そのため、一連の事件は菅原道眞の祟りであるとされ、天神として祭られます。

京都市内にある天神社・天満宮

- ・北野天満宮(京都府京都市上京区): 太宰府天満宮・大阪天満宮と併せて日本三大天神
- ・菅原院天満宮(京都府京都市上京区): 曾祖父、菅原古人の邸宅址
- ・靈光殿天満宮(京都府京都市上京区): 河内国若江郡に建造。江戸時代に再興、移築
- ・錦天満宮(京都府京都市中京区): 豊臣秀吉の都市計画のため現在地に移築
- ・菅大臣神社(京都府京都市中京区)...通称「菅大臣天満宮」: 道眞の住居址。生誕の地の伝承有り
- ・文字天満宮(京都府京都市下京区): 道眞の乳母、多治比文字が神託を受け自宅に祭った最初の天満宮
- ・火除天満宮(京都府京都市下京区): 再三の火災にもその都度近隣とともに類焼を免れる
- ・吉祥院天満宮(京都府京都市南区): 祖父、菅原清公の邸宅・学問所址。生誕の地の伝承有り
- ・安産の神様で信仰の厚い藁(わら)天神は、正式名称敷地神社で御祭神は木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)。菅原道眞公とは無関係



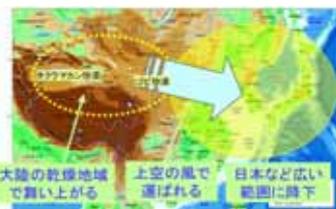
北野天神縁起絵巻 承久本
雷神に向かう藤原時平

雷避けのまじない『くわばら、くわばら』

中国・唐の文化を好んだ道眞は、絹の着物を好んで着ていたため、その領地には蚕のえさとなる桑畑が多く、「桑原」と呼ばれていました。雷が京の人々を震え上がらせた時、この桑原の地にだけは落雷がなかったという話にちなんで、雷が鳴ると『くわばら、くわばら』と唱えるようになったとされています。

黄砂

黄砂飛来の季節になりました。と言っても頻度は少ないのですが一年中発生し、僅かながらも飛来しています。春は発生の条件が整いやすく、比較的遠くまで運ばれる傾向にあります。



黄砂現象とは、東アジアの砂漠域(タクラマカン砂漠、ゴビ砂漠など)や黄土地帯から強風により大気中に舞上がった黄砂粒子が浮遊しつつ降下する現象を指します。時には空が黄褐色に煙ることがあり、東アジアが起源の黄砂粒子が太平洋を横断して、北米やグリーンランドへ輸送されたことも報告されています。

黄砂は上空を浮遊しながら空気中の様々な粒子を吸着していきます。都市上空を通過する際に、さまざまな大気汚染物質を吸着して飛来することも確認されています。(後日特集したいと思います)

花粉症だと思っていたら、実は黄砂が原因だったという場合もあるかもしれません。

花粉の飛散前から症状が出るような場合は疑ってみる必要があります。

